

健康と光線

サナモア光線療法の特徴

サナモア光線療法の原理は現代医学の治療法の理念とは異なります。現代医学の治療法は、病因を特定し、病因を人為的な手法を用いて除く方式を進歩させたことから、診断に基づいて病因に直接作用する治療法が用いられています。このように病名診断に基づく治療を特異的治療法と呼びますが、現代医学の三大療法とされている薬物療法、手術療法、放射線療法は、程度の差こそあれ有効有害な攻撃的な治療法です。したがって最悪の場合、生命すら脅かす恐れがあるため、それぞれに適応症が厳しく定められています。

一方、サナモア光線療法の理念は、地球の生命は太陽光線の恵みを受けて誕生し、その影響

下で進化したことから、太陽光線の恵みを応用することで生命の根幹をなす神秘的能力の自然治療力を向上させることを目的にした治療法です。このような治療法を非特異的治療法と呼びますが、いわば平和的な無害な治療法です。

サナモアの適応

前述したように、サナモア光線療法は病因に直接作用する治療法ではありません。その有効性の根拠は、生命に潜在的に備わっている自然治療力を向上させることです。治療に伴う有害性はありませんが、健康志向の人から病名が付くほどではないが虚弱体質の人や病名は付いたけど治らずに苦しんでいる慢性病の患者まで、どんな人でも使った効果が期待できる点にあります。すなわち適応は広範に及ぶと考

えて差し支えありません。

効果的な照射法

サナモア光線療法

線療法の愛用者から、「光線療法学」に記載されている照射時間を超えて光線をかけ過ぎが、かけ過ぎて害はないかと問われることがありますが、参考にして頂いている本に照射時間が書いてあるため、余計な心配をおかけしたのですが、光線には「薬の飲み過ぎ」のような有害性はありませんが、

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

サナモア光線療法の適応と効果的な照射法

— 生きものとしての合理性 —

サナモア光線協会

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

これまでの経験から、効果的な照射法を問われたら、時間的に余裕があるなら「光線療法学」

治療法は気持ち良い治療法ですが、多忙な人々にとつての欠点は、時間がかかることです。「光線療法学」に照射時間を書いた人が言うのは気が引けますが、

四台で180分、すなわち3時間になります。が、「かけ過ぎ」ではありません。サナモア光線療法は気持ち良い治療法ですが、多忙な人々にとつての欠点は、時間がかかることです。「光線療法学」に照射時間を書いた人が言うのは気が引けますが、

ら、「かけ過ぎ」は心配しないで下さい。ちなみにサナモア光線治療院では、光と熱の作用を同時に利用して可及的速やかな効果を得る目的で、閉鎖空間内で四台から五台の光線治療器を一斉に点灯して45分前後照射するルー形式マルチアーク療法を行っています。この際の照射時間を45分で計算すれば、

の照射時間の2〜3倍を目安にと話しています。なお照射時間が長いと水分を失いますので水分の補給に気を付けていただき、他に疲労感、肌が風呂でしみる場合がありますが、続けて皮膚が慣性を獲得すれば起こらなくなります。

生きものとしての合理性

サナモア光線療法は、ヒトも自然界の生きものの一変種に過ぎず、太陽光線の恵みの中で生きる生きものとしての合理性の視点から生まれた治療法です。昨今、医学とか科学の衣を着て、太陽光線を悪者にすることで金儲けにつなげる動きが目立ちますが、生きものとしての合理性を否定し、人々の健康を害することは許されません。サナモア光線療法を使ったことのない方は、光を当てただけで病気が治るはずがないと言います。しかし実際に使用した方から感謝の言葉を聞くのは稀ではありません。サナモア光線療法が生きものとしての合理性に立脚した治療法だからです。

一病息災 一病息災

歯 周 病

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

はじめに

平成元年、厚生省と日本歯科医師会は、「ハ〇二〇運動」を発表しましたが、これは、80歳で20本の歯を残し、生涯を通じて、自分の歯でおいしい食事をしようといった趣旨の活動です。永久歯は、親知らずを除いて、28本ありますが、もし20本残っていれば、入れ歯を使わなくても物を噛めるといった理由から、「ハ〇二〇」となったわけです。しかし、現状では、80歳以上の高齢者で、20本以上自分の歯が残っている人は、約一割ですから、実現には程遠いと思われる。

ところで、歯を失う原因の半数は、歯周病によるもので、虫歯が40%、その他が10%となっています。もし、歯周病と虫歯を予防し治療することができたとしたら、多くの歯は抜かないで済むと考えられるわけですが、歯周病の発生は、年とともに増加しています。加工食品全盛の現代社会では、プラーク(歯垢)を産生しやすい食品があふれており、食べっぱなしの状態にしておくと、必ず歯周病が起きるといふ構図になっているからです。

歯と歯周組織の構造

歯は、歯の頭の部分の歯冠と、歯の根の部分である歯根からなり、歯根が収まる歯槽骨で囲まれた部分を歯槽といいますが、歯周組織には歯肉、歯槽骨、セメント質があり、歯肉は歯槽骨を覆い、歯冠と歯根の境界部にあるセメント質とエナメル質の境で歯に付着しています。歯周病になると、歯と歯肉の付着部分が剥離して、進行すると歯根膜や歯槽骨が破壊され、最後は歯が抜けてしまいます。

歯周病の発生

歯周病に罹患している人の割合は、約72%で、年々、増加傾向にあります。その原因としては、食生活の変化、ストレス、高齢化などが挙げられます。また、歯周病が初期には自覚症状に乏しい病気だという点も、増加傾向に拍車をかける一因となっているようです。一般には、歯周病は大人の病気と考えられがちですが、一九九三年の調査では、12歳時の約半数に歯周病の初期である歯肉炎があることが報告されており、小児期からの

ブラーク・コントロールの必要性が叫ばれています。

歯周病とは

歯周病は、これまで一般に歯槽膿漏と言われてきましたが、最近では、マスキミの影響もあって、歯周病という呼び名が定着しつつあります。歯周病は、呼んで字の如く、歯の周りに起きる病気です。歯の周りにプラークが蓄積すると歯茎が腫れて、歯と歯茎の間の隙間が大きくなります。この隙間は、歯周ポケットと呼ばれますが、ここは歯周病原菌が繁殖するのには非常に適した環境なのです。

以前から、歯周病は口腔内の細菌によることが分かっていますが、一九六〇年代になると、健康な部位と病気におかされた部位とでは、細菌の形態に違いがあることが明らかとされ、歯周病を特異的に引き起こす細菌の存在が確認されるようになりました。プラークは、ほぼ80%が細菌の塊で、なかには約数億もの細菌が潜んでいるといわれています。百種類を超える細菌が存在し、そのうち十数種類の細菌が、歯周病の発症に関係する歯周病原菌であることが確認

されました。このうち、アクチノマイセス・ヒスコサスやアクチノマイセス・ネスランディといった細菌が、歯肉炎を引き起こし、歯肉炎の進行とともに、歯周ポケットを形成すると、今度は空気を嫌う嫌気性菌が増殖します。この嫌気性菌の多くが歯周病原菌で、歯肉に炎症を起こし、さらには歯を支える歯槽骨を溶かしてしまうのです。

病気と光線療法

歯科領域へのサナモア光線療法の実用は、意外と知られていないのではないかと思います。歯周病対策として、ブラッシング等によるプラーク・コントロールが大切なことになりつつありますが、歯周病の原因は、細菌感染による局所の炎症です。サナモアを歯茎に照射することにより、歯周病原菌の殺菌および局所の消炎効果が表れ、速やかに痛みは軽減し、腫れはひきます。治療に際しては、集光器にガラス管を装着すると照射しやすい場合もあります。歯周病の予防から治療に至るまで、サナモアは幅広く役立ちますので、是非、歯科での治療と並行してお試ください。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.31 宇都宮 正範

第十二期

サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講

第十二期サナモア光線治療師養成講座を、十二名の参加者を迎え、七月に東京にて開講しました。今回も全国から多数の方にご参加を頂き、終始、活発な意見交換が行われる中、あっと

いう間の三日間でした。今回、治療師認定を受けられた方々をご紹介します(写真)。



治療師認定者

猪口 清美(大阪府)、水島 早乙女(東京都)、小森 美加(東京都)、古賀 保行(大阪府)、市村 晴子(東京都)、吉田 美貴子(秋田県)、御供 槇子(神奈川県)、田中 玉井 百美子(愛知県)、田中 隆夫(兵庫県)、畑 純典(兵庫県)、中澤 淑江(東京都)、矢嶋 利美(東京都)。

第二十六回
「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：十月二十日(土)

午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院

三階会議室

治療院&

治療師紹介

今回は先日行われたサナモア光線治療師養成講座に出席し、治療師資格を取得された方から頂いたお手紙を掲載致します。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

矢嶋 利美(東京都)

養成講座の際には、大変お世話になり、ありがとうございます。また、締め切り後の申し込みで、ご迷惑をおかけしました。

毎年この時期に行われていることは、季刊誌で存じ上げていましたが、なかなか参加できずにおりました。しかしながら、今年こそは受講しなければという強い思いにかられて、参加さ

せて頂きました。

私どもの治療院にお越しになる患者さんは、現代医療では改善せず、泣いておられる方ばかりです。自分たちの技術にサナモア光線療法をプラスすることによって、一人でも多くの患者さんを救うため、再度、サナモア光線療法について勉強したかったのですが、今回、勉強したことを、これからの治療に役立てたいと思っています。

治験例報告

サナモアで頻繁に襲われる

めまい発作から解放された

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 53歳 男性 会社員

症状 七年前に初めて、激しいめまいに襲われ、ふらついて足

が地に着かない状態となり気分が悪くなる。その後、頻繁にめまい、吐気を認め、入退院を繰り返し、メニエル氏病、前庭神経炎、良性発作性頭位変換めまい等の病名をいくつかの病院で言われたが、この病気は、「完全に治ることはない」「発作を繰り返すのがこの病気の特徴」との説明を受けていた。激しいめまいの後は、一週間前後、頭がすっきりせず、仕事が手につかないため、周囲からは、「めまいくらいで休むな」「怠け病ではないか」と冷たい視線を投げかけられるようになり、退職

をも真剣に考え始めた頃、従兄にサナモア光線療法を紹介され、治療目的にて来所した。

療法経過 治療には、A Bカーボンを使用。後頭部20分、両耳を各30分、顔面20分、口の中を10分照射。その後、腹部10分、背部10分、腰部10分、膝10分、足裏20分を照射した。翌日から、自宅での光線治療を開始。

治験例報告

内痔核が

サナモアで軽快した

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

症例 60歳 女性

症状 サナモア愛用者。最近、

腹部に違和感があるため、病院を受診したところ、内痔核と診

一日に二回は照射すること、両耳の照射では、カーボンをA BとB Cを交互に使用することを指示。最初の二週間は、特に何の変化もなかったが、二週間が経過した頃から、激しいめまいを生じなくなり、急に動いたり、頭を下げる動作をした時にのみふらつきを自覚するまでに改善。その後、病状は一進一退であったが、四か月目に入り、めまいの発作は減って、めまいの後に頭重感を感じなくなった。今では、暗い気分は一扫されて、普通に日常生活をおくれるまでに改善している。

TEL 078-111-1115

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

断され、腹圧をあまりかけないこと、便秘に注意することを指導されたとのことで、サナモアの照射方法について質問された。療法経過 治療は、B Dカーボンで、患部である肛門部を中心として、腹部、腰部、膝、足裏を各20分は照射するよう指示。自覚症状が強い時には、朝、昼、夕、眠前の一日四回の照射を指示した。開始から三か月が経過

した頃、腹部の症状がなくなったので病院で検査してもらったところ、もう心配しなくてよいが、便秘だけはしないようにとの説明を受ける。その後も、光線治療を続けており、二年経過した現在も全く問題ないとのことで、大変喜ばれている。

TEL 092-5811039
五七二一五七三

治
験
例
報
告

ノロウイルス感染症を

サナモアで治療

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 53歳 女性

症状 サナモア愛用者。生来健康であったが、突然、悪寒が起こり、発熱、下痢、嘔吐をきたしたため、病院を受診したところ、ノロウイルス感染による急性胃腸炎と診断された。病院で出された薬の内服を開始したが、気分がすぐれないため、サナモア光線療法の併用を開始した。

療法経過 治療は、A Bカーボンを使用。消化器症状を改善するために、腹部を60分照射してから、腰部10分、足裏30分の照射を施行したところ、症状はかなり軽減し、気分不快も消失。自宅での光線治療を三日間続けたところ、ほぼ完治し、仕事にも復帰できた。

(TEL) 044-732-5067

治
験
例
報
告

腰痛症に伴う歩行障害が

サナモアで改善した

武蔵野市 カワグチ光線整体療法院

川口 一憲氏報告

症例 71歳 女性

症状 約二年前、転倒した際に

左肩を強打したが、上肢の挙上も困難となり、近医を受診。そこで処方された消炎鎮痛剤を内服するも症状は改善せず、その後、左肩をかばうような姿勢でいることが多くなり、腰椎の彎曲を生じ、腰痛を認め、歩くこともままならない状態に陥り、知人の紹介で来院した。

療法経過 治療は、整体にて脊柱を整えてから開始。側臥位にて腰椎の左右をB Bカーボンにて各20分照射。その後、四灯の治療器を用いて、全身照射(腹部B D、背部B B、膝A B、足裏B Cを40分施行した。当初、顕著に回復が見られたのは、右肋骨下部の痛みの消失からであったが、三か月後には、スムーズに歩行ができるまでに回復。医師から、回復は難しいと指摘されていたので、今回、サナモアで克服できたことを非常に喜ば

れ、旅行にも行きたいと話されている。

カワグチ光線整体療法院

(TEL) 044-313-3990

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

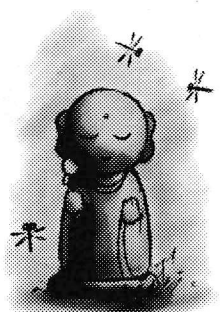
サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさん

で、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。



サナモア光線協会 体験記

乳がん術後痛みが ほぐれる瞬間!

東京都 山口房子治療師

50代の知人女性のことです。

乳がんと宣告され、睡眠薬を飲んでも眠れないとの連絡を頂いたため、早速、光線治療器を持参して伺いました。頭部への照射にて、不眠は解消することができましたが、入院待ちが約一か月もあるとのことだったため、その間は、光線治療を続け手術に臨みました。

手術では、病巣およびリンパ節の摘出を行いました。術後は放射線治療のために週5回、計30回ほど通いました。誰でもそうですが、病気のつらさは、本人にしか分かりません。放射線や抗がん剤治療は、考えられないほどの苦しみの連続です。とくに私が、すごいと感じたのは、抗がん剤を点滴で、2時間かけて落とす際に、おなかがすくので、おむすびを持参し、食べながら点滴を受けていたということです。これには看護師さんもとて驚かれたようです。

生来は、胃腸症状を頻繁に訴えるような面もある方でしたが、この夏で三年目を迎えます。私が出向くと、いつも笑顔で迎えてくれて、顔色もよく、とても大病をしたとは思えません。仕事を持っていたということも、つらさを忘れさせ、気持ちを前向きにさせた要因の一つだと思います。

しかし、日々の忙しさのため、三日も光線治療を行わないと、とたんに痛みに襲われるそうです。でも、どんな時もBDカーボンで光線を長時間照射すると、痛みがほぐれる瞬間が分かれると言っています。

これまでの三年間、色々なことを乗り越えてきました。ただ、まだ気は抜けません。サナモア光線治療を続けながら、日々、苦痛を感じることもなく過ごせることを、実感されています。たった一台のサナモア八号機で、頑張っています。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。ついでに体験記をお送りくださいますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会
趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)